

2006年10月3日

駐日米国大使	J・トーマス・シーファー	} 様
在日米軍司令官	ブルース・A・ライト中将	
在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将	
厚木航空施設司令官	ジャスティン・D・クーパー大佐	
外務大臣	麻 生 太 郎	
防衛庁長官	久 間 章 生	
防衛施設庁長官	北 原 巖 男	

町田市長 石阪 丈一

厚木基地における夜間連続離着陸訓練の中止等について（要請）

10月2日、防衛施設庁から、厚木基地において夜間連続離着陸訓練（NLP）が行われるとの通告がありました。この通告によれば、10月12日(木)及び13日(金)の2日間、低騒音の機種によるNLPが行われるとのことでした。

また、硫黄島における天候等の事情により所要の訓練が実施できない場合には、厚木基地において、全機種の訓練を行う可能性があるとのことでした。

このことは、NLPの厚木基地からの全面移転を強く求めてきた我々の願いに反するものであって、誠に遺憾であります。

貴職におかれましては、日ごろから騒音被害に苦しむ基地周辺住民に配慮され、全ての訓練を硫黄島着陸訓練施設で実施されるよう（米側に申し入れるとともに、このことについて日米双方で再度調整されるよう）強く求めます。

※日本政府に対する要請文書には、()を挿入